

# なぜ勉強は必要か

『やる気と結果を出す  
学習法シリーズ ①』



Hisanao

永遠の問題：

なぜ勉強をするのか？

答え1：大企業の管理職

いい大学を出て、いい会社に入ると、やはり立場と給料が違う。  
安定した人生を送れるかは子どもの頃の頑張りで決まるんだ。

答え2：資産家

いい給料？受験や大学の勉強なんて金儲けに役立たねえよ。  
あんな知識無駄だね。  
金で金を生む仕組みを作り、労働者を働かせればいいのさ。

答え3：先生

全ての教科は社会を支えています。  
文学は教養を深め、人は歴史から学び、数学の普遍性は人類の.....。

時間、お金、ストレスが最もかかる勉強。

小学生から大学生から大学生の親まで。

ガリ勉ですら「なぜ」を問うし、

「なぜ」がなければ勉強を使い戦う受験に勝ち残ることはできません。

受験が今の社会、それゆえ人生に与える影響が大きいのは事実です（後述）。

「勉強法シリーズ」の第一弾。

今回はなぜ勉強は必要か、私なりの答えを言葉にします。

=====

まず、答え2：資産家の言うとおりに、

受験やアカデミックで学ぶ知識のほとんどは金儲けに直結しません。

私は資産家ではありませんが(大した資本もない...)、

資本主義の世の中、お金を稼ぐことは必要不可欠です。

一方で、答え1：働く会社の規模や立場には影響します。

少子高齢化に伴う現役世代の負担が高まり続ける一方、

非正規雇用やブラック企業が増加する現状。

ストレスやプレッシャーから逃げずに努力できるか、

同じ時間があれば他より結果を出せるかを図る受験勉強。

その結果を重視する企業世界で飯を食うならば、受験は極めて重要な投資先です。

さらに、答え3：先生、その他多くの大人が懸念するように、

教養が著しく乏しいと共通の土俵で会話ができません。

程度や優先度に差異はあり、自分の飯も稼げないで学問のロマンに沈む人間もいれば、

中学生のような言動でも金に対する嗅覚だけで100人分の金を稼ぐ人間もいます。

ただ、多くの経営者や成功者は芸術が好きであったり、上の世界こそ高い教養が土俵となる気もします。

この原理は、勝てる人間の多くが、人ができることは当たり前でできる上で、人と違うこともできる、だと思いますが、ここでは割愛。

まとめると、大多数のように雇われて生きるなら受験勉強はリターンの高い投資先。

ただし、一人で稼いでいくなら、受験勉強よりも「使える」知識はいくらでもある。

ハイリスクな分、「働かなくてよい」ほどにリターンも桁が異なる。

全体として、ないよりはあった方がいい知識だが、どうも実学的ではない知に比重が高過ぎるのではないか。

-----

さて、やはり難しいですね。

私が何と言おうと、私の100倍稼いでいる人間が、

「中学校から行く必要なんてねえよ。ネットオークションで小学生をカモにするスキルが金儲けの原点よ」

と語り、彼に憧れているのならば、彼が正しくなります。

脱線しない程度に補足すれば、別に彼が「悪い」とも全く限らない。

真っ黒なビジネスはあっても真っ白なビジネスはないように思います。

一人で稼いで生きていくななんて大変そうだから、優秀な企業戦士に向けて、まずは受験戦争に死にも狂いで出兵するのか。

無駄な努力なんてしたくないから、誰も助けてくれない世界に一人乗り出すのか。

難しい。私が語れる世界などたかが知れています。

ただ、この記事を見つけたのが10代や20代前半の方であれば、

ぜひ私の「答え」を少し考えてみてください。

-----

私は、受験勉強は極めて効果の高い投資だと思います。

なぜなら、その知識や学歴がもたらすリターンをはるかに超えて、

「頭の筋肉を鍛え抜く」ことが、

その後80年の人生で極めて重要になると考えているからです。

-----

同じく重要とされる「部活」を例に取ります。

部活がなぜ重要なのか。

決して、野球のテクニックを身に付けたから、空手の型が綺麗だから、フルートが弾けるから、

だからその後の人生に役立つ訳ではありません。

部活が持つ、先輩後輩、監督の上下関係。

朝早くから夜まで。土日も長期休みも汗だくで続ける。

全てが決まる試合のために、つらく厳しい練習を毎日毎日繰り返す。

そうして作り上げる肉体と心の「強さ」が、一生物だからです。

人は死ぬまで、他人との関わりの中で、自分の体で生きていきます。

部活の六年間を、酒や家族を知った大人になってから再現するのは不可能です。

忍耐力や精神力、上下関係という部活で鍛え抜いた「筋肉」は、

体の動かし方も知らない連中では一生発揮できない力を宿してくれます。

企業が体育会系を採用するのは、そのハードの「強さ」がビジネスにも社会にも必須だからです。

-----

勉強で鍛える「頭の筋肉」も同じです。

数学の理論を知っているから、歴史年表が頭に入っているから、古典を読んだから、

だから将来に役立つ訳ではありません。

何に役立つのか分からない膨大な知識。

ふらふらと遊びたいし、異性にも興味があるし、合格不合格なんて「戦い」は誰だって嫌です。

それでも、その極度のプレッシャーやストレスの中、自分をコントロールして、必死に難しい事を理解し覚え直し結果を出していく。

そうして「鍛え抜いた脳」が、社会という本番で、

幾多の新しく、自分だけの困難に直面した時に、

その自分でしか決められない解を出すのに必要不可欠なのです。

人生で現れる問題に困ったら、誰かの「答え」をそのまま使えばよい。

むしろ誰かがきっと助けてくれるはず。

そんな戦い方を知らず逃げ方ばかり探しては、勝ち方を知らない大人になります。

部活で鍛え上げた肉体が、何歳になっても、戦うフィールドが変わっても「強い」ように、

受験で鍛え上げた頭脳も、問題が変わろうが解答がなかろうが、あらゆる局面で自分自身を助けてくれます。

積み重ねる知識やスキルを気にする前に、

まず十代は肉体と頭脳という一生物の土台を確立する時だと思います。

-----

最後に、偉そうに「頭脳を鍛えろ」などと言っている私は誰か。

資本主義の指標では私の稼ぐ力など、

ほぼ勤める会社からの給料というただの若造です。

上記の通り、トップレベルの大学、留学、企業と登ってきましたが、

どれも一番ではないし、所詮はサラリーマンです。

ただ、自分を使い切って死ぬのが生きる目的の厄介な若造に生まれてしまい（笑）、

常にチャレンジをするため、絶えず高すぎる壁や困難に苦しみ、

なんとか乗り越えるために全力で戦ってきました。

結果、**TOEIC**満点の英語力でこのブログやビデオレッスン（後述）を作成したり、

小説家として若いコンテストで入選し、細々と物書き等はしております。

-----

「あれもこれもやっている人」と覚えられているようですが、

人生は1回だけれど1種類ではないと思います。

努力して進んでいる道の途中で、入り込んでみたい新しい道の先端を見つけた時。

しっかりと次なる分岐点までは歩き続けられる脚力がなければ、

せっかくのチャンスを諦め続けて人生を終えてしまいます。

社会に旅立つまでにどれだけ体と頭脳を鍛えたかで、

旅の道も出会いも変わると思います。

ぜひ、まだ自分の道に出会えていないのならば、

まずは「勉強」という厳しくも鍛えられるペースメーカーに食らいついて、



自分の走り方を確立してみてもうどうでしょうか。

2014年3月24日

=====

あとがき

「お金持ちになる方法」を知りたいと、上でも出てきた資産家の話を聞くとお思いませんか？

残念ながら私には書けません。（希望では「まだ」書けない...）

気を付けて、そして覚えておいて欲しいのは、

知っていることと、できることは、何もかも異なるということ。

例えば本を読めば、100人が100人「やり方」を知ることはできます。

ただし、実際に「やれた」人は、100人中1人いるかいないかです。

あらゆる物事を誰かから学ぶ際、

「この人は自分で達成してから教えているのか。それともどっかで拾ったノウハウを横流ししているだけか」

しっかり見極めて下さい。

お金持ちになりたければ、自分自身が一代で資産を築いた本物から学ばなくてはなりません。

成功もしていないのに、成功哲学の横流しで初めて成功を狙っている輩に引かからないよう

に。

成功どころか騙されているのに、騙された時の謳い文句をコピーしているだけの連中から、健康食品は買わないように。笑

その点で、私が「本物」と認め師匠にしている方を、最後にご紹介します。

「学習法シリーズ」では、1記事に1人、私の本での師匠を教えます。

=====

『1人目』

ウォーレン・バフェット

言わずと知れた、世界最高の投資家。

「投資」の概念は、株だけに留まらずあらゆる世界で必要不可欠です。

お金だけでなく、時間や人、機会にも投資は当てはまります。

=====

私が25年で「本物」になれたのは、

大学、留学、就職という王道の階段に加え、

英語や、書いて話してこのような言葉をアウトプットすることだけです。

現段階の私が持つ「本物」のノウハウを実践し、何より一緒に成長していきたい方は、

ぜひ私のブログや下記ビデオをご登録し、長い長い人生を共に旅していきましょう。

=====

著者 : *Hisanao*

TOEIC満点、作家、IT企業グローバル系人事。

慶應義塾大学→UCLA→大手IT企業。

=====

ブログ :

[一步世界へ ~Lead Japan to the World ! 「英語と感動のある人生へ」~](#)

ビデオ :

[TOEIC満点のひとこと英会話講座 \(YouTubeチャンネル\)](#)